

(様式4)

令和3年度 東海北陸ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

未来を創造する公衆衛生看護活動の展開
～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～

2. 目的

全国保健師長会の活動を共有するとともに、複雑多様化する地域の健康課題解決に向けて、地域に責任をもった活動を行うことができる保健師の人材育成力をつけ、公衆衛生看護活動の強化を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	令和3年7～8月	メール会議	【第1回理事・支部長会議】 ・ブロック活動計画・研修会打合せ
2	令和3年 10月30日(土) <理事・支部長会> 12:00～12:45 <研修会> 13:00～16:40	オンライン (Zoom) 静岡県浜松市中央保 健福祉センター	【第2回理事・支部長会議】 ・情報交換 【東海北陸ブロック研修会】 ① 全国保健師長会活動報告 常任理事 馬場 順子 氏 ② 講演 「保健師の人材育成力～地域に責任を もった保健師活動を行う～」 講師 岸 英光 氏 (コミュニケーショントレーニングネ ットワーク 統括責任者)
3	令和4年1～2月 <支部・理事長会>	メール会議	【第3回理事・支部長会議】 ・ブロック研修会報告 ・次年度研修会 ・情報交換

4. 結果・課題

【理事・支部長会】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催時期や開催方法の変更となったが、集合・WEB形式で実施することができた。WEBを活用することで、時間を有効活用できたこともあり、今後も集合、WEB形式の利点を活かしながら、進めていきたい。

多くの支部で会員拡大の課題があげられ、各支部の規約や活動状況の情報交換を実施した。

【研修会】

研修会も集合・WEB形式で実施。遠方の会員も気軽に参加できる点やアンケート集計の簡略化などIT化を今後も進めていく必要性を実感した。

全国保健師長会の活動報告では、「今までの経緯や役割を再認識し、刺激を受けた」との声も聞かれ、今後の会員拡大にもつながると思われた。

コミュニケーションの講話は、職場での人材育成に加え私生活も振り返り、今後に向けて「すぐに実践したい」「次のステップも聴きたい」など、好評であった。

今回、各支部の実践報告の時間を確保できなかったため、やり方を検討していく必要がある。

5. 支部活動の特徴

7県1市の8支部で構成。

理事・支部長会を年2回実施。全国保健師長会や各支部の活動・課題などの情報交換をし、各支部の活動に活かしている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、メールやWEB会議での実施となったが、事前に話し合いのテーマなどを提示することで、会議は効率よく開催することができた。

6. 委員・支部長 氏名 所属

○理事	松田 のり子	浜松市中区役所健康づくり課
理事	佐藤 かおり	名古屋市総務局職員部安全衛生課
富山県	谷口 理絵	富山県高岡厚生センター氷見支所
石川県	竹島 ゆり	石川県健康福祉部健康推進課
福井県	木下 恵美子	福井県坂井健康福祉センター（福祉保健）
岐阜県	井上 玲子	岐阜保健所健康増進課
静岡県	鈴木 香賀	浜松市西区役所健康づくり課
愛知県	石田 洋子	愛知県春日井保健所健康支援課
名古屋市	岡田 恵子	名古屋市中区保健センター保健予防課
三重県	栗本 元子	三重県医療保健部健康推進課